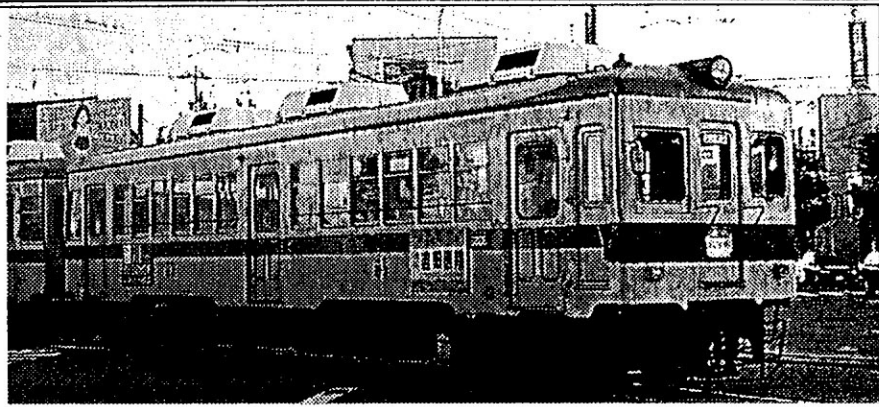


勉強会の舞台になる福井
鉄道の車両＝福井市内で



電車に乗って 公共交通考えよう

福井鉄道の電車に乗って沿線風景を楽しみながら、地域の公共交通について考える住民参加型の催し「電車を乗りこみ公共交通を考えよう会」が27日に開かれる。福鉄職員や交通活性化にとりくむ市民による講演、意見交換会、懇親会がある。

27日、福鉄の車内で意見交換・懇親会 参加者募る

市民団体の丹南市民自治研究センターと中部地区労働福祉平和センターが主催。参加者は事前に電話で申し込んだ上で、午後2時に武生市の福鉄武生新駅に集合し、2両編成の電車に乗り込む。まず止まった電車の中で、福鉄職員が同鉄道のこれまでの変遷な

どを語る「電車今昔物語」、懇談する。持ち込みも歓迎するという。

市民団体「ぶくい路面電車とまちづくりの会」（ROBAの会）メンバーによる講演「暮らしと地域から見る電車の姿」を聞く。

午後3時ごろ同駅を発車、福井市の田原町駅まで移動する。その時間を利用して、参加者の役割や活性化を楽しく語

加者は車内で八つのグループに分かれ、地域交通の活性化について話し合う。同3時半ごろ田原町駅に到着。構内で、グループごとに内容をまとめ発表する。

約45分後に折り返し武生新へ向け出発。帰りの車内ではビールやお茶、菓子で自由に要。

申し込み、問い合わせは丹南市民自治研究センター（電話0778・23・8708）へ。先着70人。参加費として1人500円（電車賃込み、大人、子ども同額）が必要。